



(一)横浜港湾福利厚生協会  
シンボルマーク  
(昭和52年11月制定)  
福利厚生(welfare)の頭  
文字Wをデザインしました

# 厚生ニュース

# はまかぜ

平成29年7月1日

第75号

一般社団法人 横浜港湾福利厚生協会

横浜市中区山下町279-1

☎045(681)6751

http://www.y-port-kousei.or.jp

発行責任者 倉林 恒人

編集責任者 豊田 均

印刷所 神奈川新聞社

〈本紙は再生紙を利用しています〉

## 六月二十二日 横浜港運会館大会議室にて 第六十二回 通常総会 開催

平成二十九年六月二十一日、横浜港運会館大会議室において第六十二回通常総会を行いました。

藤木会長の挨拶の後、来賓の方々から祝辞をいただき、議事の審議に入りました。

平成二十八年度事業報告及び決算並びに公益目的支出計画実施報告、平成二十九年度事業計画及び予算について原案どおり



藤木会長挨拶

承認されました。

昨年度も横浜港で働く方々の福利厚生面での充実を図るため、各種事業を積極的に進めてまいりました。

主な取り組みにつきましては次のとおりです。

まず、山下ふ頭再開発に伴い、山下ふ頭港湾厚生センターが、平成二十九年七月から八月にかけて二か所に分散移転するため、老朽化等により廃止となった新山下单身者住宅の解体工事を行い、跡地を給食センター移転先として利用できるようにするなど、横浜市と連携を図りながら準備を進めてまいりました。

また、平成二十九年十一月一日に当協会が創業六〇周年を迎えるにあたり、記念事業の一環として記念誌の発行を予定して

平成28年度決算のあらまし (単位:万円)

科目	決算額
事業活動収入	197,120
会費収入	1,345
港湾福利分担金収入	23,136
施設整備助成金収入	12,200
事業収入	155,547
雑収入	2,532
補償金収入	2,360
事業活動収入計	197,120
事業活動支出	176,051
事業費支出	176,051
管理費支出	7,909
事業活動支出計	183,960
事業活動収支差額	13,160
投資活動収入	
投資活動収入計	
投資活動支出	
固定資産取得支出	9,315
投資活動支出計	9,315
投資活動収支差額	△9,315
固定資産関係	
固定資産関係差引(後)収支差額	3,844
投資活動収支の部	
投資活動収入	
特定預金取崩収入	50
投資活動収入計	50
投資活動支出	
受入保証金支出	50
住宅整備等特定預金支出	3,800
投資活動支出計	3,850
投資活動収支差額	△3,800
特定預金関係	
特定預金関係差引(後)収支差額	44
予備費	
当期収支差額	44
前期繰越収支差額	23,797
次期繰越収支差額	23,841

平成29年度予算のあらまし (単位:万円)

科目	決算額
事業活動収入	196,743
会費収入	1,319
港湾福利分担金収入	23,000
施設整備助成金収入	13,300
事業収入	156,301
雑収入	2,233
補償金収入	590
事業活動収入計	196,743
事業活動支出	178,162
事業費支出	178,162
管理費支出	6,841
事業活動支出計	185,003
事業活動収支差額	11,740
投資活動収入	
投資活動収入計	
投資活動支出	
固定資産取得支出	13,351
投資活動支出計	13,351
投資活動収支差額	△133,51
固定資産関係	
固定資産関係差引(後)収支差額	△1,611
投資活動収支の部	
投資活動収入	
特定預金取崩収入	2,000
投資活動収入計	2,000
投資活動支出	
受入保証金支出	0
住宅整備等特定預金支出	0
投資活動支出計	0
投資活動収支差額	2,000
特定預金関係	
特定預金関係差引(後)収支差額	389
予備費	300
当期収支差額	89
前期繰越収支差額	23,841
次期繰越収支差額	23,930



第62回通常総会

## 横浜港港湾労働者供養祭 六月二日 象の鼻パークにて開催

平成二十九年六月二日(金)に当協会と横浜港運協会との共催で「象の鼻パーク」内の「横浜港港湾労働者供養塔」前を会場とし「横浜港港湾労働者供養祭」を執り行いました。

この供養塔は、横浜港の発展に尽力されながら、不慮の事故や病気で亡くなられた方々の御霊を慰めるため、昭和四十九年に神奈川県・横浜市・港湾業界・当協会によって山下ふ頭に建立されましたが、平成二十一年、横浜開港百五十周年を記念して、横浜港発祥の地である象の鼻パークへ移されました。

象の鼻パークに移設後は、港湾関係者だけでなく市民の皆様にも参列していただけるよう「横浜港港湾労働者供養祭」と



主催者挨拶

して毎年執り行い、市民の方々に横浜港で働く方々の功績を広く知っていただく機会となっております。

また、今年度は横浜市による全国都市緑化フェア開催に伴い、供養塔の周囲に花壇を設置したため、供養塔が例年以上に綺麗な装いとなりました。

当日は、天候にも恵まれ、官公庁、港湾関係者やご遺族等、多くの方々に参列していただきました。また、全国都市緑化フェアが開催中につき、象の鼻パークが特に賑わっていたため、例年以上に多くの一般の方にご参列をいただきました。

式典は、午前十一時に参列者全員による黙祷から始まり、続いて、藤木会長が挨拶を述べました。



藤木会長による花輪奉納

その後、感謝と敬意を込め、供養塔に花環を捧げ、引き続き参列者約三五〇人が次々と献花し、横浜港の発展に寄与された方々のご冥福をお祈りすると共に、これからの横浜港の発展と安全を祈念いたしました。

### 役員名簿 (敬称略)

役職	氏名
会長	藤木 幸夫
副会長	飯泉 牧太郎 藤木 幸太 小此木 歌藏 成松 清秀
専務理事	倉林 恒人
常務理事	豊田 均 国井 重雄
常任理事 (以下50音順)	阿部 且 飯泉 勝也 石黒 明博 伊東 慎介 勝浦 和明 黒澤 芳徳 笹田 照近 杉村 政男 鈴江 孝裕 鈴木 誠一 東海 和男 長谷川 元 原田 龍次郎 藤木 幸吉 枘田 建二郎
理事	大西 敬二 荻島 尚之 酒井 英治 坂田 薫 佐藤 彰 多田 和也 田丸 祐一 千木良 米雄 德里 則之 渡邊 正 渡辺 直人
監事	浅野 正敏 田端 肇 永田 実

### 山下ふ頭港湾厚生センター移転について

現在、山下ふ頭は、横浜市による再開発計画が進められています。これに伴い、山下ふ頭港湾厚生センターは、二か所に移転いたします。

まず、七月十八日に食堂と当協会事務所が、山下ふ頭内の修景緑地に仮設される『山下新厚生センター』へ移転いたします。

続いて、八月二十一日に給食センター（ポトキッチン）が、新山下単身者住宅跡地に建設される『新山下給食センター』に移転いたします。

『山下新厚生センター』は、一階に波止場食堂と海員生協、二階に当協会事務所（総務課・管理課）と横浜港湾人倶楽部、三階に会議室が設けられます。

新しい波止場食堂は、七月十八日からの営業を予定しており、現在の波止場食堂山下店と中華店を統合し、和洋中に対応した食事を提供いたします。また、料理の完成をお客様にお知らせするワンタッチコールシステムを導入いたします。

『新山下給食センター』は、一階が給食センター、二階に当協会事務所（山下事業課）、四



階に会議室が設けられます。

なお、給食センターは八月十九日までは、現在の給食センターで、八月二十一日からは、新設の給食センターで営業いたします。この機会に更に皆様のご愛顧を得られますよう努めて参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。



### 六〇周年記念事業について

当協会は、平成二十九年十一月一日に創業六〇周年を迎えるにあたり、記念事業の一環として次の各事業を行います。

- 一、創業六〇周年記念講演会及び記念式典
- 二、記念誌の発行
- 三、会員企業従業員向け事業の拡大

一、の創業六〇周年記念講演会及び記念式典は、平成二十九年一〇月三十一日（火）にロイヤルホールヨコハマにて開催を予定しております。

なお、記念講演会につきましては、当協会藤木幸夫会長を講師として開催する予定です。二の記念誌につきましては、創業六〇周年の歩みを記した記

### 波止場食堂 山下店 新メニューのご紹介

波止場食堂山下店では、横浜で広く愛されている餃子の名店・野毛「万里」監修の『波止場餃子』を新メニューとして登場させます。

**野毛「万里」福田会長監修 「波止場餃子」**

横浜で庶民の味と言えば餃子、また、横浜で餃子と言えば「野毛万里」ということは、ハマっ子の誰もが知っています。「野毛万里」は、日本で初めて焼餃子売り出した店として知られています。

終戦後、満州から引き揚げてきた野毛万里・福田会長のお母

さんが満州で習い覚えた餃子を再現し、まだ戦争の傷跡が残る野毛の町で焼餃子として売り始めたのが万里の、そして日本の焼餃子のルーツです。

お母さんの焼餃子に育てられた福田会長は、この餃子のレシピを大切に守り育て、今の世代に引き継いでいます。

野毛の町からほど近い旧高島ふ頭や新港ふ頭で港湾作業が活発に行われていた昭和三十〜四十年代頃には、港での仕事を終えた人たちが、万里の餃子を食べ、明日への活力を養ったと聞きます。

港湾作業が野毛の町から遠ざかってしまった今、港で働く人たちに是非食べてもらいたいという福田会長の思いが込められた「波止場餃子」を作りました。今年も暑い夏となりましたが、夏を乗り切るスタミナメニューとして、『波止場餃子』を是非ご賞味ください。



波止場餃子

七月十八日「波止場の日」に『波止場餃子』の特別サービス「波止場餃子」登場の日となる七月十八日「波止場の日」の

### 寄付ありがとうございました

藤木企業株式会社吉間良雄様のご遺族より、当協会にご寄付を頂きました。ありがとうございました。

はまかせ 診療所

第66回 带状疱疹を予防するワクチンが受けられます

本牧港湾診療所 本橋 郁子先生

带状疱疹は、水ぶくれを伴う赤い発疹が身体の左右どちらかに帯状に出て、強い痛みを伴い、完治までに約四週間かかる皮膚の病気です。重症になると痛みなどで、日常生活が制限されてしまうこともあります。

原因は、水痘・带状疱疹ウイルスです。初めて感染した時は水痘として発症しますが、治った後もウイルスは長い間体内に潜んでいます。普段は免疫力によって活動が抑えられています。年齢やストレスなどで免疫が、加齢やストレスなどで免疫

ランチタイム（午前十時〜午後一時三十分）には、野毛万里・福田会長をお招きして、来店者全員に『波止場餃子』の特別サービスを行います。

### 夏メニューの定番 「冷やし中華」

波止場食堂では、ゴールデンウィークから夏メニューの定番である冷やし中華を提供しています。暑くて食欲が落ちてくるこれからの季節にピッタリな冷たくてさっぱりとした味わいになっていきます。麺や具もボ



冷やし中華

力が低下すると、ウイルスが暴れ出し、神経に沿って皮膚に到達して带状疱疹を発症します。日本の成人の9割以上がすでにこのウイルスに感染したことがあり、ほとんどの人が带状疱疹になる可能性があります。

带状疱疹の発症率は五〇代から急激に高くなり、带状疱疹患者の約七割が五〇歳以上です。日本では八〇歳までに、約三人に一人が带状疱疹になるといわれています。今回の予防注射の対象年齢も発症率の高くなる五〇歳以上になります。

带状疱疹は、皮膚症状が治った後も、時には何年もつらい痛みが残ってしまう带状疱疹後神経痛になる可能性があり、約二割の患者さんが移行するといわれています。

データによると、ワクチンの接種は、带状疱疹の発症率と带状疱疹後神経痛への移行率を、半数近く減少させる予防効果が期待されます。

ワクチン接種については、かかりつけの先生に御相談下さい。リユームたっぷりでご食べぐたえもあります。

今年の夏も是非、波止場食堂の冷やし中華をお楽しみください。